



成人の日

吹奏楽・劇・映画など  
二千五百人を招待

市民ホールで成人式

来る一月十五日は、成人の日として、成年に達せられた若い方々のために祝賀をする祭日です。全国各地でいろいろな催しが行なわれますが、本市では午前十時から、市民ホールで今年「成人の日」を迎える二、五五九人をお招きして成人式が行なわれます。

この日は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」とための祝日になっています。子供の時代が過ぎて成人になると、一人前の人格のある人間として扱われるということになります。つまり、自分のすることについて正しい判断を持ち、その責任をしっかりと負って、みづから責任をとるだけの能力をそなえた人間として扱われ、法律上完全な行為能力を持つこと、国家に参加する権利を取得することになります。

規則守って安全第一  
新道路交通法

毎日多くなる自動車によって交通がますます多くなり、交通事故もぐんぐん増えています。この深刻な交通問題を解決するために、新設された新道路交通法は、すでに昨年の十二月二十日から行なわれていました。この法では交通安全のため、歩行者、運転者などすべての人が法を守らなければならないことを決めて、罰則を厳格にしています。守れば安全を保障し、違反したときはきびしく罰せられます。お互いに道路交通法を守って事故を起さないようにしましょう。



新設された新道路交通法は、すでに昨年の十二月二十日から行なわれていました。

総合衛生施設を計画

世界的水準の処理場など

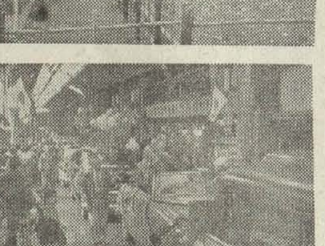
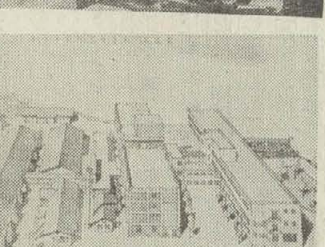
し尿処理場として売却することになった福万寺地区一帯約三二万平方メートルの総合衛生施設建設の都市化が進むにつれて問題となることについて市と地元の人達との間で話が進められています。去る十二月二十四日には、地元代表が市を訪問し、市の具体的な計画を聞き、実現へ努力することの文書協定がなされました。現在市で考えられているごみの処理場は当市が土地を提供し、大阪市が建設費(約八億)を負担し、予定です。

★ 思い出の1960年 ★

- 1月 前年から街の明るい話題になっていた黒い羽根運動でヤマの子供達が八尾市へ訪れたのを始め、9日には市立労働会館の地鎮祭が行なわれ、昭和35年の建設工事の第一歩を踏み出しました。このほか八尾政、成人式など例年の行事も盛大に行なわれました。
- 2月 国民健康保険の給付内容が充実され、府下最高となり、市民の健康で明るい生活を保障する制度として大きく前進しました。また市民サービスの強化のため機構改革が行なわれ、管理部門を縮小し、建設部門とサービス部門が統合されました。高安山登山観光事業の一つである高安山登山観光道路工事に着手し、13日には市立病院の10周年記念式典が行なわれました。
- 3月 3月定例会市会では予算総額13億7百万円に及ぶ予算案を審議し、学校建設、道路の整備充実を重点とした新市建設の諸計画が決められました。街では、道路を広くする運動が行なわれ、今東光氏も一日警察署長として話題を呼びました。
- 4月 恩智川以西25平方メートルを5年計画で行なう町名地番改正の第一改正町が、八尾中心部1平方メートルに実施され、前年度事業の市内4小学校の増築校舎も完成し、明るい児童の歌声が聞かれ、14日には各校園に子供を守る黄色い旗が送られました。一方、商業界でも9日から開かれた国際見本市に市内から14業者が出品されたほか、市場の大売出しをかねた「ミス八尾」の選定も行なわれました。
- 5月 福祉会館ができ、7日から福祉事務所が会館へ移りました。24日に開かれた臨時市会では、羽多野・磯田正副議長と各常任委員が決まりました。農協ではその地区の農休日を決められ、恩智川水防組合では災害に備えて水防訓練が行なわれました。西本願寺の大谷光院門主が市立養老院を訪れ、おとしりにおかみそりの掃帚式をされたのもこの月でした。
- 6月 市の衛生週間を機会に当市特産のブラシを宣伝啓発する黒のクイーンパレードが賑やかにくりひろげられました。高安山に展望台ができハイキング客の憩いの場所が一つふえました。公民館では小島文庫の制度ができグループで、書籍に親しんでいただく活動が始められました。10日には市立病院の増築工事の地鎮祭があり、近代病院に一大飛躍する工事に着手した。
- 7月 定例会市会に都市づくりの根本になる下水道計画と第二次町名地番改正案などが可決されました。また、夏の予防衛生の面から赤痢追放運動や旧例の大掃除も17日から各地区で行なわれました。24日には恩智のキャンプ場開きがあり、野外活動センターとして毎日多数の利用者がありました。
- 8月 台風災害防止に万全を期すとともに、衛生面では、川を美しくする運動を始め、西部地区を府の赤痢追放予防特別対策地区に指定し、地元民あがての協力によって赤痢追放の実をあげられました。22日の労働会館開館式の日には早くも結婚式の申込みがあり、街の明るい話題となりました。
- 9月 15日のとしよりの日は例年通り市民ホールで祝賀式を行ないました。続いて19日には八尾電報電話局志紀館のくわ入れがありました。28日から開かれた9月定例会市会では暴力追放を決議し、道路学校を重点に一般会計予算の補正、三好、山下氏の教育委員の再任などが決められました。
- 10月 赤い羽根でおなじみの共同募金運動、国勢調査きよ制国民年金の資格取得届の三つが1日から始まりしました。22日には暴力排除連絡所が各地区に設けられ、明るい街づくりに全市民が協力されました。市民ホールでは21日から美術展が開かれ、文化祭行事が始まりました。
- 11月 文化の日には、48氏4団体の文化功労者を表彰し、菊花展は常光寺で15日まで開かれました。3日からは第三次町名地番改正が実施され、20日の選挙投票日が過ぎると商店会では早や年末売出しに入り商品見本市を商工会議所、市民ホールで行なわれました。
- 12月 今年度建設の市営住宅の募集に続いて、市税完納促進や歳末たすけあい、火災予防、防犯運動などの月間行事が始まりました。14日から5カ年計画で行なう下水道事業のくわ入れ式を行ないました。続いて17日には交通量の多い恩智寺交差点に信号機がつけられました。12日の定例会市会では、古藤助役の再任、し尿処理場の用地売却などが決められました。



黒い羽根運動、市立病院完成図、市営住宅、ミス八尾パレード、町名地番改正審議会、福祉会館清水町、小島文庫、公民館、労働会館、山本、市民ホールでの祝賀式、音楽教室、成法中、文化表彰、陳事堂、下水道工事くわ入れ式



歩道のある道路は歩道を通り、歩道のないところは必ず右側の端を通らなければなりません。道路を横断するときは、横断歩道が設けられている場合は横断歩道を利用し、近くにない場合は、走っている車の直前、直後をきけ道をまっすぐに横断して下さい。

歩く人  
歩道のある道路は歩道を通り、歩道のないところは必ず右側の端を通らなければなりません。道路を横断するときは、横断歩道が設けられている場合は横断歩道を利用し、近くにない場合は、走っている車の直前、直後をきけ道をまっすぐに横断して下さい。

黒い羽根運動  
前年から街の明るい話題になっていた黒い羽根運動でヤマの子供達が八尾市へ訪れたのを始め、9日には市立労働会館の地鎮祭が行なわれ、昭和35年の建設工事の第一歩を踏み出しました。

市立病院完成図  
市立病院の増築工事の地鎮祭があり、近代病院に一大飛躍する工事に着手した。

市営住宅  
市営住宅の建設が進み、市民の住居問題が緩和される見込みです。

ミス八尾パレード  
ミス八尾の選定が行われ、市民の注目を集めました。

町名地番改正審議会  
町名地番改正の審議会が開かれ、新しい町名が決定されました。

福祉会館清水町  
福祉会館が完成し、市民の福祉向上に貢献します。

小島文庫  
小島文庫の制度が導入され、市民の読書活動が促進されます。

公民館  
公民館で各種の文化活動が行われ、市民の生活が豊かになります。

労働会館  
労働会館が完成し、労働者の福利厚生が向上します。

市民ホールでの祝賀式  
成人の日を記念して、市民ホールで祝賀式が行なわれました。

音楽教室  
音楽教室が開校し、市民の音楽活動が盛んになります。

成法中  
成法中の建設工事が進み、市民の生活環境が改善されます。

文化表彰  
文化功労者を表彰し、市民の文化活動を奨励します。

下水道工事くわ入れ式  
下水道事業のくわ入れ式が行われ、市民の生活環境が改善されます。

入学前のジフテ予防接種

四月に小学校に入学する方を対象として第一期ジフテ予防接種が行なわれますので、必ず近くの

こどもを守る

こどもの交通安全は、誰でも守らなければなりません。保護者が率先して交通安全を守り、子供も交通安全を守ることが大切です。

償却資産の届出

償却資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の明細を、地方税

三十一日までに

償却資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の明細を、地方税

償却資産の届出

償却資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の明細を、地方税

償却資産の届出

償却資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の明細を、地方税

償却資産の届出

償却資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の明細を、地方税